

第7分科会

初めての反転授業デザインワークショップ

コーディネーター・報告者：

田口 真奈 氏（京都大学 高等教育研究開発推進センター 准教授）

報告者：塙 雅典 氏（山梨大学大学院 総合研究部 工学域 教授）

古川 智樹 氏（関西大学 国際部 准教授）

ファシリテーター：澁川 幸加 氏（京都大学大学院教育学研究科 博士後期課程 1 回生）

分科会概要：

反転授業とは、知識の獲得を授業外で行い、知識の応用や活用、定着を授業内で行う授業形態である。わが国では 2012 年頃から実践が見られるようになったが、実践が広がるにつれて、「反転授業を手探りでやってみたものの効果が今一つ感じられない」「反転授業という言葉聞いたことはあるし興味もあるけれど何から始めたらいいのかわからない」といった声がかかれるようになった。本分科会では、反転授業とは何か、そのメリット・デメリットを整理したのち、具体的な実践事例を紹介する。また、参加者には、反転授業を導入してみたい授業の流れを整理したものをあらかじめご準備いただき、当日持参していただく。その後、参加者をグループ分けして、グループの中から 1 つの授業を取り上げ、ワークシートを用いて従来の講義形式の授業を反転授業に「リデザイン」するグループワークを行う。実際に授業を「リデザイン」する中で生じた疑問点を共有し、講師からのコメントを得る。これらを通して反転授業をデザインする実践知を全体で共有することを目指す。

分科会プログラム

本分科会の趣旨説明

講演 1. 反転授業とは？その歴史と定義、効果について

田口真奈（京都大学高等教育研究開発推進センター・准教授）

講演 2. 工学部における反転授業実践例～学習者の主体性の涵養を目的としたリデザイン

塙 雅典（山梨大学大学院総合研究部工学域・教授）

講演 3. 言語教育（日本語教育）における反転授業実践例

～対面授業で何を行うべきかの再考からのリデザイン

古川智樹（関西大学国際部・准教授）

グループワーク 反転授業設計ワークシートを用いた授業のリデザイン

ファシリテーター

田口真奈・澁川幸加（京都大学大学院教育学研究科博士後期課程 1 回生）

シェア

まとめ